



イルランドから届いた3匹のぬいぐるみ犬を
囲んで談笑する府中四中の生徒たち

あつたか クンダフル日記

アイルランドから犬ぬいぐるみ 府中四中

府中市の府中四中に、アイルランドの小学校から三匹の犬のぬいぐるみがやってきた。ぬいぐるみを通じ、学校間の国際交流を橋渡しする民間団体の事業に応募。生徒たちは今後、犬たちが見たかのように学校や家庭生活を英文日記でつづり、相手校に届ける。

(武河隆司)

三匹の名前は、パッチ、スナッチ、スクラッチ。十日に、アイルランドの首都ダブリンにあるホリーフェイス小から到着した。昼間は各学級に置き、夜は生徒が順番に持ち帰る。

「お好み焼きを食べた」「星がきれいだった」「体育の時に初めて剣道をした」。生徒たちは、その日の出来事を、これまでに習った単語と

文法を駆使して日記に書いている。

同中は、特定非営利活動法人(NPO法人)グローバルプロジェクト推進機構(神戸市)の事業「テディベアプロジェクト」に応募。ホリーフェイス小を紹介され、ぬいぐるみ交流を始めた。近く、クマなどのぬいぐるみとクラスの写真、日本のおもちゃをアイルランドに送る。日記は二学期が終わった時点で交換する予定だ。

一年生の山本志保さん(13)は「書きたいことがいっぱいがあるので、辞書で調べたり、先生に聞いたらして大変。でも楽しくやりがいがある」と張り切る。英語担当の梶間真穂教諭は「自然な形で英文を書き、表現する機会になる。生徒たちの反応は思った以上で息の長い活動にしたい」と期待している。

「3匹」と交流 英文交換へ

1月14日 岡田和也